

経営比較分析表（令和3年度決算）

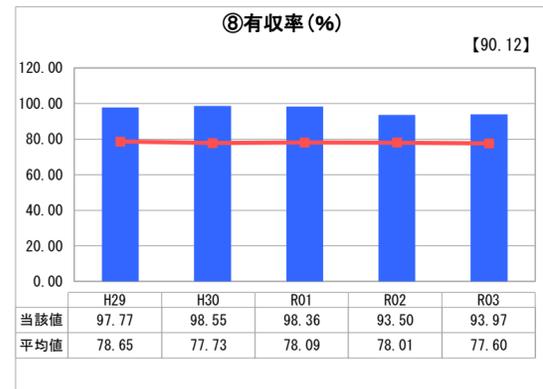
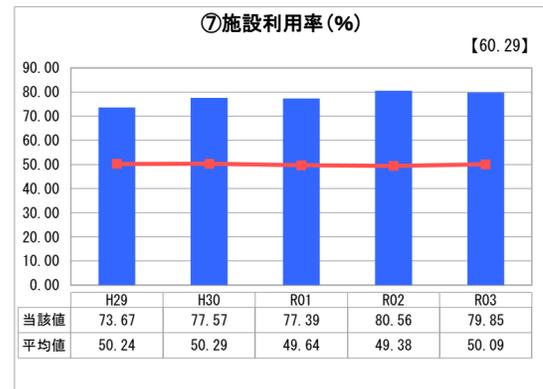
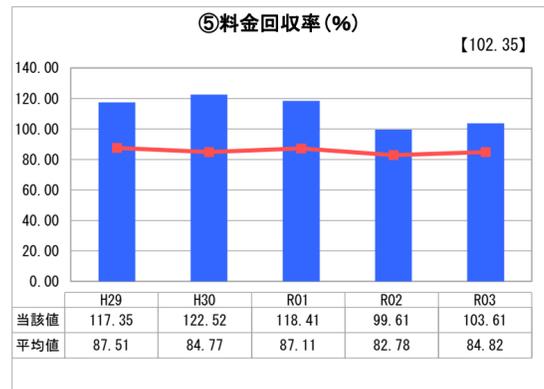
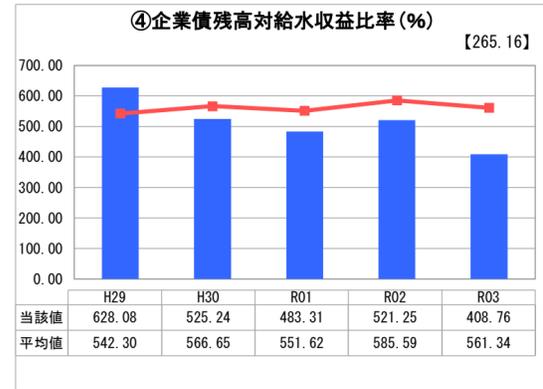
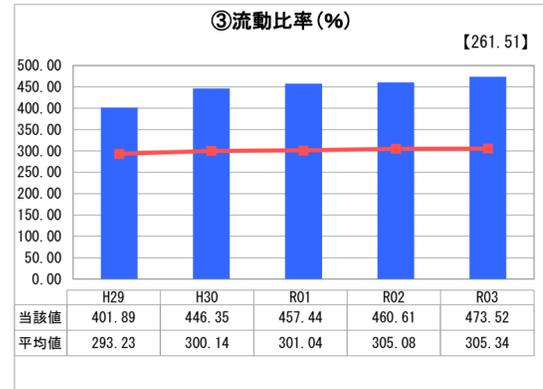
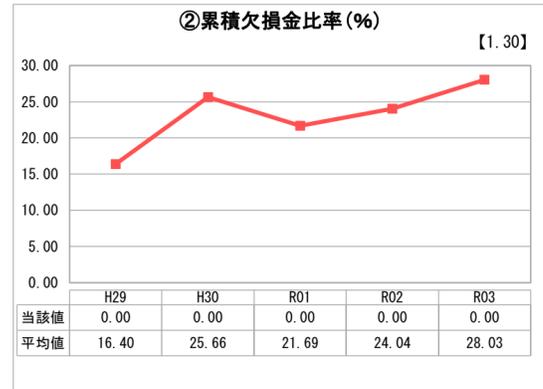
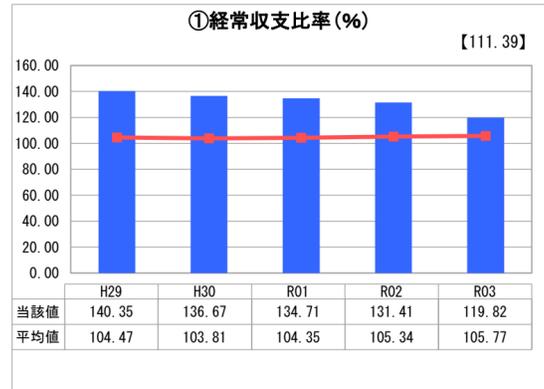
福岡県 久山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.72	98.57	2,530	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,209	37.44	245.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,112	10.95	832.15

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

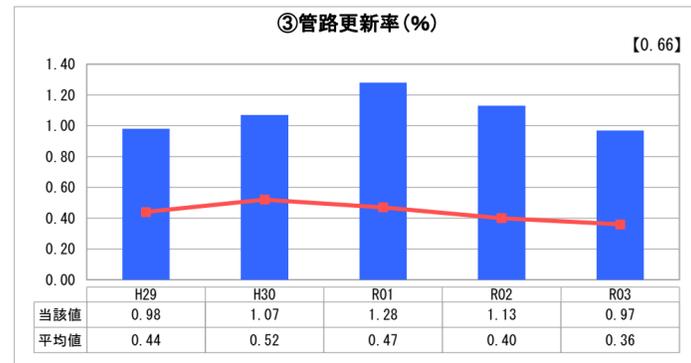
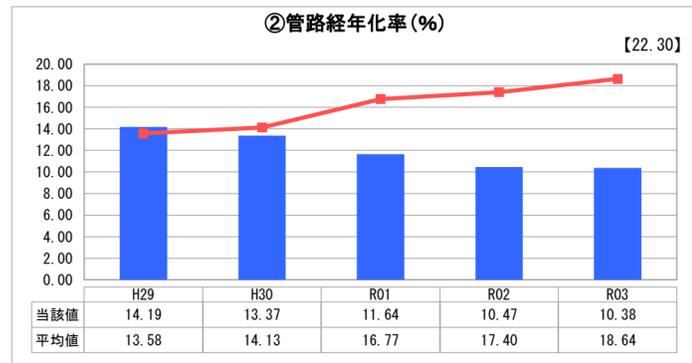
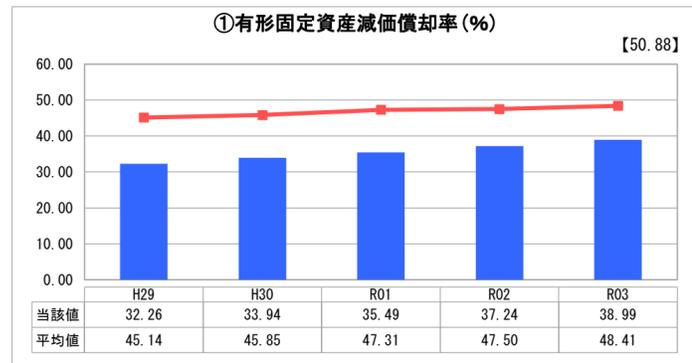
1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、流動比率においても100%を大きく上回っており経営の健全化が図れている。料金回収率については、前年度新型コロナウイルス感染症の影響で減少したが、行動制限の緩和等に伴い、緩やかに回復傾向となっている。今後は浄水場の改修工事や老朽化した配水管の修理など費用がかかってくるうえに一般会計繰入金も下がってくる見込みであるため、収支計画、投資計画の作成見直しを行い、よりよい経営を行っていききたい。

2. 老朽化の状況について

管路経年化率からもわかるように類似団体と比べると耐用年数を超えている管路は少なく、前年と比べても減少しており、適切に管の更新を行えている。有収率については、前年に近い値で推移しているため、現状維持できるよう漏水調査を行い、早期の修繕を実施するなど、安心安全な水を提供できるように経営を行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

水道事業においては料金収入もあり資金面においては問題がないが今後浄水場の改修工事もあり支出が多くなることが想定されるためその時に備え収支計画の見直しが必要である。また老朽化による管の布設替えは進められてはいるが漏水等は増えている現状を踏まえ漏水調査の広範囲化や優先順位の再考、投資計画の見直しを行い、無駄のない水の提供を行っていく。